

登録コード	E9162400	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究						担当教員	茅野 理恵
英文授業名	Graduation Study						副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	・先行研究等を基に、自らの研究課題ならびに研究の目的を明確にすることができるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	・目的に沿った研究方法を選択することができるようになる。 ・研究計画を立案し、調査・分析を行い、その結果から、自らの研究課題について考察することができるようになる。 ・研究の成果を論文にまとめることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	・ テーマを設定し、研究を進め、論文を執筆する。 ・ 論文指導では、毎回進行状況をレジュメにまとめてプレゼンテーションを行う。なお、論文指導は進行状況に応じて随時行うこととする。 ・ テーマを設定し、先行研究を調べ、研究計画を立案し、これに基づきデータの収集、分析を行い考察する。 ・ 自分の考えを他者へわかりやすく伝えるためのレジュメやプレゼンテーションの方法を学ぶ。 ・ 卒業論文を作成する。							
(5)授業計画	<前期> 第1回：ガイダンスー論文作成のフロー 第2回：課題の決定(1)ー文献のレビュー 第3回：課題の決定(2)ー先行研究のレビュー 第4回：課題の決定(3)ー文献のまとめ 第5回：課題の決定(5)ーテーマと研究対象ー 第6回：研究計画(1)ー目的と仮説ー 第7回：研究計画(2)ー対象ー 第8回：研究計画(3)ー調査内容と収集方法検討ー 第9回：研究計画(4)-調査内容・収集方法の見直し- 第10回：研究計画(5)ー分析計画ー 第11回：研究計画(6)ー仮説の見直しー 第12回：実施に向けて(1)ー調査依頼ー 第13回：実施に向けて(2)ー調査準備ー 第14回：調査(1)ー調査実施ー <後期> 第1回：論文の構造と執筆のルール 第2回：目次の構成 第3回：分析(1)ー結果の概要ー 第4回：分析(2)ー仮説に基づく分析ー 第5回：分析(3)ー結果に基づく考察ー 第6回：分析(4)ー分析の見直しー 第7回：考察(1)ー結果の概略ー 第8回：考察(2)ー結論ー 第9回：考察(3)-先行研究と異なる結果の考察- 第10回：考察(4)ー問題点と今後の課題ー 第11回：論文(1)ー文献研究ー 第12回：論文(2)ー目的と仮説、方法ー 第13回：論文(3)ー結果と考察、引用文献等ー 第14回：研究結果の報告とお礼 卒業論文の提出							
(6)成績評価の方法	1)以下を総合して判定する。 ・ 目的・方法・結果・考察を適切に行えたかを確認する「卒業論文」：50% ・ 分かりやすく情報を伝えることができたかを確認する「授業でのプレゼンテーション」：30% ・ 授業への主体的・積極的な関与を確認する「授業への貢献度」：20% ＊評価割合は若干の調整を行うことがある。 2) 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	①レジュメの作成等の授業準備 ②授業でのプレゼンテーションにおいてわかりやすく情報を伝えることができたか ③ディスカッションにおいて主体的・積極的に関与したか ④自らの問題意識に基づいて課題を検討することができたか ⑤他者の意見を取り入れながら、次への方向性を検討することができたか							

(7)成績評価の基準	以上5つの観点について ①～⑤の5項目を満たし、且つ新たな視点を組み入れつつ検討できていれば「卓越している」 ①～⑤のうちの5項目を満たしていれば「かなり上にある」 ①～⑤のうちの4項目を満たしていれば、「やや上にある」 ①～⑤のうちの3項目を満たしていれば、「その水準にある」
(8)事前事後学習の内容	・授業は、受講者が行った課題の発表とそれに基づくディスカッションで展開する。授業にあたっては、前週に出された課題を行うと共に、発表用資料を準備しておくこと。 ・発表用資料には、以下の点を必ず記載すること。 1) 研究テーマ 2) 研究目的 3) 本日の発表内容（調べてきた内容） 4) 考察（調べてきた内容に対するコメント） 5) 次回へ向けての課題 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って,60時間以上の時間外学習が必要となる。
(9)履修上の注意	・授業は、受講者が行った課題の発表とそれに基づくディスカッションで展開する。 ・ディスカッションへの積極的な参加を期待する。 ・欠席にあたっては、事前に連絡をすること。 ・茅野（理）研究室所属学生を対象とする。
(10)質問、相談への対応及び連絡先	茅野（理）研究室(E403) Tel：026:238-4207 e-mail：chinori@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	各自の研究課題に合わせて適宜紹介する
【参考文献】	各自の研究課題に合わせて適宜紹介する